

## 2020年度事業報告

自 2020（令和2）年4月1日

至 2021（令和3）年3月31日

### [ 総括 ]

- # 2020年度はコロナ禍の影響に加えて前理事長の逝去に伴う理事の交代という難しい時期でしたが、協会職員の努力もあって事業を円滑、かつ効率的に進めることができ、以下に述べるように赤字幅を縮小することができました。  
併せて、理事各位の支援を受けて協会の公益的な活動を一層活性化させていくべく、外交啓発活動については大学生などの若い世代の月例講演会への参加を奨励する、或いは、海外援助活動事業についてはニーズの増えている環境関係車両などの積極的掘り起こしを通じて事業拡大を図るといった新しい方向にも歩み出すことができました。
- # 2020年度収支決算の結果は、収入248,695千円に対し、支出は253,319千円で4,624千円の赤字を計上しました。2019年度は14,795千円の赤字でしたので、赤字幅が約1千万円減りました。その結果、正味財産の期末残高は24,614千円（前年の期末残高は29,238千円）となりました。
- # 事業内容を展望すると、自治体が保有する消防自動車、救急車、塵芥収集車などを整備し直して開発途上国に贈与する、海外援助事業（いわゆるリサイクル援助事業）では2020年度は19カ国に26件、54台の車両等を寄贈します。事業規模は210,941千円でした。また在外公館施設におけるエンジニア派遣業務についてはコロナウイルスの世界的蔓延の影響で外務省は1度も入札を行いませんでした。2021年年明けにチェコ、ウクライナ、スイスの公館改修について見積り合せ方式で受注したものの、その後EUが日本人入国拒否を鮮明にしたことから派遣は白紙となり、事業実績はゼロとなりました。
- # 赤字幅が大幅に縮小した主な原因は海外援助事業の事業規模が前年度の137,842千円から217,009千円と79,167千円も大きくなったこと。しかし、エンジニア派遣事業がゼロとなったことなどマイナス要因も大きく、収支を黒字に転じることはできませんでした。

# 『日本外交の150年——幕末・維新から平成まで——』を2019年3月に出版（本体価格3800円）、3000部を印刷し、1517部の在庫を抱えており、1冊3500円として流動資産の商品の項目で約530万円を計上していますが、時間が経つにつれ価値が低下するおそれがあります。

# 今年度特筆すべきはコロナ禍による影響ですが、一方で国や東京都が中小企業向けに新設した持続化給付金、家賃補助などで合計約640万円を受領でき、営業外収益の雑収入の中に計上しています。

[ 主な事業 ]

1. 国際知識に関する普及及び調査研究事業

# 月例講演会の開催 — 国際情勢の研究と外交政策の広報

原則として毎月1回、日本記者クラブにおいて国際問題講演会を開催している。講師は主として外務省の幹部を招いて実施しており、外交政策の普及に努めている。2020年度はコロナ禍による緊急事態宣言などで恒例の1月新年事務次官講演を延期するなどした。開催実績は下記の通り。

21年3月12日「中東情勢について」外務省中東アフリカ局長 高橋克彦氏
21年2月15日「SDGsについて」(Web講演会) 外務省地球規模課題審議官(大使) 小野啓一氏
20年12月15日「英国のEU離脱」元駐英大使 鶴岡公二氏
20年11月20日「日本と東南アジア諸国の関係の深化」外務省アジア大洋州局南部アジア部長 小林賢一氏
20年10月20日「日ロ関係及びプーチン政権の今後について」外務省欧州局長 宇山秀樹氏
20年9月29日「米大統領選挙について」外務省北米局長(大使) 市川恵一氏
20年8月21日「一外交官が見た中国と日中関係」駐ペルー大使 片山和之氏
20年6月12日「最近の中国情勢と今後の日中関係」外務省アジア大洋州局参事官 遠藤和也氏

2. 在外公館支援に関する事業

外務省の入札案件。当協会の恒例事業となっているが、当年度はコロナ禍によって案件がなく、成果もゼロだった。

3. 海外援助に関する事業

# リサイクル援助

日本国内で役割を終えた消防自動車や救急車、塵芥収集車などを自治体から譲り受け、整備し直して開発途上国に寄贈している。

2020年度は別表のとおり、19カ国に26件、54台の車両および関連資材として防火服類、車椅子等を寄贈する。このうち6案件については機材到着時に技術者を派遣して、現地の人材育成を目的とした短期研修を行う。コロナ禍で人員の派遣が難しくなったため、消防士やエンジニアの教育のためのビデオを作成、送付して短期研修に替えるなどの便法も適宜取り入れている。

(表内、\*印は短期研修を実施)

国名	契約時期	要請団体	提供機材
マダガスカル	2021年1月	アンタナナリボ市	消防車2台
トンガ環境	2020年12月	廃棄物公社	塵芥収集車3台
ドミニカ共和国	2021年1月	サンルイ消防隊	消防車1台
ドミニカ共和国	2021年1月	緊急・災害技術隊(BOTED)	救助工作車1台
ナミビア	2021年3月	スワコプムント	救急車2台
カンボジア	2021年1月	プノンペン首都	消防車4台*
トンガ消防	2021年1月	消防局	消防車1台
ホンジュラス	2021年1月	ホンジュラス消防団	消防車3台
マダガスカル	2021年3月	アンタナナリボ大学病院	救急車3台
アルゼンチン	2021年3月	グアレグアイチュ市	消防車1台
ブルキナファソ	2021年3月	在京大使館	消防車、救急車 計7台
ウルグアイ-1	2021年3月	リオ・ネグロ	搬送車(いわき)1台
ウルグアイ-2	2021年2月	エル・トルナド	搬送車(松戸)1台
パキスタン	2021年3月	パキスタン赤新月社	救急車5台
シエラレオネ	2021年3月	空港保健センター	救急車1台
サモア	2021年3月	サモア消防庁	消防車、救急車 計4台
ブータン	2021年3月	ロイヤルブータン警察本部	消防車3台
ドミニカ共和国	2021年2月	コンスタンサ市	消防車1台*
ドミニカ共和国	2021年3月	ティレオ地区	塵芥収集車1台
セントルシア	2021年3月	セントルシア赤十字	車椅子搬送車1台
レソト	2021年3月	マセル市	消防車、救急車 計2台*
チリ	2021年3月	国家非常事態庁(ONEMI)	起震車1台*
チリ	2021年3月	アレマナ市	化学消防車1台
ジョージア	2021年3月	ラゴデヒ地区	消防車1台*
バヌアツ	2021年3月	タンナ島タンナ(旧ホワイトグラス)空港	空港用消防車1台*
スリランカ	2021年3月	ムーライ協同組合病院	救急車2台

[ その他の事業 ]

#機関誌「日本外交協会報」の発行

日本外交協会の会報は、例会の行われた月に講師の講演内容を中心に編集して発行している。外交は国民の支援と協力があってはじめて成果をあげることができるという観点から、可能な限り外務省の政策広報に力を入れている。配布先は会員のほか外務省、全在外公館、自治体、関連団体など。

#講師派遣

昨今の世界情勢などについて正確な情報を提供するため、大使OB、国際関係を研究する学者などを企業や各団体に派遣している。

以上